

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

776

男女共生推進センター（みらい）管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	8	人権尊重・男女共同参画の推進
施策	2	男女共生社会の実現
取組方針	3	男女共生社会実現のための環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	市民福祉費		
	目	男女共生推進費		
	大事業	男女共生推進事業		
	中事業	男女共生推進センター（みらい）管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令	和歌山市男女共生推進センター条例、規則		関連課	

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	施設を安定的に利用できる状態にする。		男女共生推進センターの施設管理及び貸館等運営業務を行う。			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		あいあいセンターの共用部分に係る施設管理 男女共生推進センターに係る施設管理 男女共生推進センター貸館業務	あいあいセンターの共用部分に係る施設管理 男女共生推進センターに係る施設管理 男女共生推進センター貸館業務	あいあいセンターの共用部分に係る施設管理 男女共生推進センターに係る施設管理 男女共生推進センター貸館業務	あいあいセンターの共用部分に係る施設管理 男女共生推進センターに係る施設管理 男女共生推進センター貸館業務	あいあいセンターの共用部分に係る施設管理 男女共生推進センターに係る施設管理 男女共生推進センター貸館業務

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	21,813	20,747	20,377	18,311	20,395	18,347	21,273	0	20,395	0
伸び率（%）	1.4%	△2.5%	△6.6%	△11.7%	0.1%	0.2%	4.3%	△100%	△4.1%	0%
人件費	正規職員	3,222	3,786	3,902	4,061	3,801	3,801	3,103	0	3,801
	正規職員以外	2,396	3,093	2,276	2,276	2,543	2,543	2,720	0	2,543
	小計	5,618	6,879	6,178	6,337	6,344	6,344	5,823	0	6,344
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	1,383	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	12,260	10,764	11,475	8,308	11,449	9,005	11,208	0	11,449	0
一般財源（税等）	9,553	9,983	8,902	10,003	8,946	9,342	8,682	0	8,946	0
所要人数 （人）	正規職員	0.40	0.47	0.49	0.51	0.49	0.49	0.40	0.00	0.49
	正規職員以外	1.05	1.48	1.05	1.05	1.15	1.15	1.15	0.00	1.15
主な予算内訳	管理委託料10,574千円及びび所々修繕料1,154千円、光熱水費7,833千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
修繕件数		件	目標値					
			実績値	12	4	4		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
年間施設利用件数		件	目標値	1000	1000	1000	1000	1000
			実績値	568	284	401		
			達成度(%)	56.8%	28.4%	40.1%	%	%
年間来館者数		件	目標値	25000	25000	25000	25000	25000
			実績値	18944	3185	5812		
			達成度(%)	75.7%	12.7%	23.2%	%	%
会館日数		日	目標値	309	307	309	308	310
			実績値	309	307	309		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	より効率的に適正な運営を行う。
見直し・改善内容	施設の修繕等を計画的に実施するなど引き続き適正な管理運営を行う。